

## あいち多文化共生タウンミーティング 2020 IN なごや 開催結果報告書

2021年2月27日(土)、愛知県は、「子どもたちへの多文化共生理解教育を考える」をテーマにタウンミーティングを行いました。17名の方に御参加いただき、現在県が作成を進めている子ども向けの多文化共生理解教育の教材案について意見をいただきました。開催結果は、以下のとおりです。

### 開催概要

テーマ 「子どもたちへの多文化共生理解教育を考える」

場 所 あいち NPO 交流プラザ 大会議室(名古屋市東区)

日 時 2021年2月27日(土曜日)午後1時から午後4時まで

### 当日の流れ

1 愛知県の取組紹介 (説明者 愛知県多文化共生推進室職員)

2 事例発表

テーマ:「犬山市子ども大学」における国際理解教育の取組について

登壇者: NPO 法人シェイクハンズ代表理事 松本里美氏

3 教材案の内容説明 (説明者 愛知県多文化共生推進室職員)

4 ワークショップ

### 1 愛知県の取組紹介

愛知県が取り組んでいる多文化共生理解教育事業の趣旨、概要についてお話ししました。

### 2 事例発表

NPO 法人シェイクハンズ代表理事 松本里美氏より、犬山市が実施している「子ども大学」事業の中で16年間にわたり国際理解教育の連続講座を実施してきた御経験から、多文化共生に関する講座の内容や、そうした講座を企画・実施するにあたって大切にした視点などについてお伺いしました。

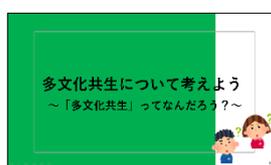
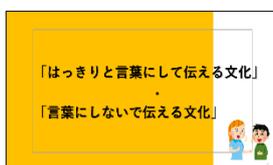
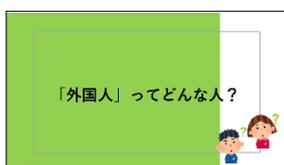


### 3 教材案の内容説明

現在多文化共生推進室が作成を進めている子ども向けの多文化共生理解教育 教材案のうち、4つの教材案の内容について、教材のねらいなどと併せて説明しました。

#### 【4つの教材】

- ・『「外国人」ってどんな人？』
- ・『「はっきりと言葉にして伝える文化」・『言葉にしないで伝える文化』』
- ・『多文化共生について考えよう～『多文化共生』って何だろう？』
- ・『やさしい日本語』



### 4 ワークショップ

上記3の教材について、教材ごとにグループで分かれ、教材案の良いところ、良くないところ、どうすれば改善できるか等について話し合いました。主な意見(抜粋)は以下のとおりです。

- ・子どもたちの間では、些細なことが、からかいやいじめにつながる可能性がある。例えば「外国人」という表現ひとつとっても、今まで「何人」という意識をしたことのない子どもにあえて区別の意識を与え、結果的にクラスの中にいる外国ルーツの子どもたちが傷ついてしまう恐れもあるので、表現には十分に気をつけないといけない。
- ・学校の先生にとっては、各教材を使った指導案の例が用意されていると、より使ってみようという気持ちになるのではないか。
- ・最近の総合学習の時間は SDGs に絡めた学習がはやっているのですが、この教材も SDGs の観点を取り込むようにすれば、多文化共生にあまり関心のない先生にも使ってもらえるのではないか。
- ・多文化共生に関心や理解がある先生ばかりではない。先生自身が多文化共生を理解していないのに子どもを指導することはできないので、先生たちに理解してもらうことが先ではないか。

## 1 このタウンミーティングを何で知りましたか。(複数回答有り。)

チラシ	0
県のホームページ	1
知人からの紹介	1
メール	1
その他	1
無回答	0

## 2 今回参加しようと思った理由は何ですか(自由記述)

- ・教材に興味があった
- ・国際理解担当として学校現場に多文化共生の授業を取り入れたいので。
- ・子どものための日本語教育について学んでいる段階で、受け入れる側へのアプローチが不足している現状への問題意識をもっています。未来志向で、異文化間能力の高い子ども達を育むヒント、具体例を学びたく参加させていただきました。

## 3 事例発表の感想をお聞かせください(一つ選択)

とてもよかった	3
よかった	1
ふつう	0
よくなかった	0
全くよくなかった	0
無回答	0

## 感想の理由をお聞かせください。(複数選択可)

活動を進める上での参考になった	2
これまで知らなかった話を聞くことができた	2
聞いた事がある話ばかりだった	0
つまらなかった	0
多文化共生社会づくりに興味がわいた	2
テーマについてもっと知りたいと思った	1
多文化共生社会づくりについて知識を深めたいと思った	3
その他	0
無回答	0

#### 4 ワークショップはいかがでしたか。感想をお聞かせください(一つ選択)

とてもよかった	2
よかった	2
ふつう	0
よくなかった	0
全くよくなかった	0
無回答	0

#### 感想の理由をお聞かせください。(複数選択可)

- ・教育関係者以外にも内・外から見れるように、色々なジャンルの方が混ざり合って話し合っても良いと思いました。
- ・実際に学校現場で使える教材について意見を述べたり、他の人の意見を聞く事ができたので。
- ・教材のイメージが明確になった。利用に向けたアイデアがいくつか出たのがよかった。
- ・教材を作成する方向性は素晴らしいと思うし、先駆けて実施していくべき事だと思う。しかしながら、今回のワークショップは、有識者による添削作業がメインの目的ととられかねない部分があった。自分はボランティアであり、経験も少ないため、指摘した内容・部分を正解に導けたのか不安が残る。この教材を利用する前の教育者へのアプローチ方法も含め、日本語教育に関わる方、児童発達、教育の有識者のアドバイスがあると、さらに良いものになるのでは、と思います。

#### 5 今後、タウンミーティングでテーマとしたいこと、やりたいことなどがあれば教えてください。

- ・是非、教材が出た後も、タウンミーティングで他地域で意見交換していただきたい。
- ・これからの地球人としての生き方を年代問わずに考えられたらいいと思います。
- ・外国人市民を巻き込んだイベントを開催するコツ、注意点、人を集めるヒント
- ・異文化理解に有効な、心理学的取り組み

#### おわりに

今回のタウンミーティングを通して参加者の皆様から頂きました御意見は、今後、多文化共生理解教育の教材を作成する上で、参考にさせていただきます。参加して下さった皆様、ありがとうございました。

あいち多文化共生タウンミーティングは、2018年3月に策定した「あいち多文化共生推進プラン 2022」の重点施策の一つで、毎年3回開催することとしています。日頃、多文化共生に関心を持って活動されている方も、そうでない方も、どなたでも参加していただくことができます。今後も開催して参りますので、ぜひ御参加ください。



愛知県多文化共生シンボルマーク